東北駆け込み寺

いろは横丁だより

2024.08.01
47号

日本駆け込み寺22周年、青母連1周年、玄秀盛68年記念「貧者の一灯會」開催

公益社団法人日本駆け込み寺は、2024年7月21日に、新宿区歌舞伎町で「貧者の一灯會」を開催しました。 今年で68歳になった代表理事の玄秀盛氏（玄さん）は22年間で5万人以上の人を救い、「青母連」ではホスト問題で苦しむ女性のために立ち上がり国会や世界をも動かしています。

玄さんは、これからも「たった一人のあなたを救う」ために、数々の救いの企画に取り組んで行きます。先ずは8月8日から夜の駆け込み寺のスタートです。





（日本駆け込み寺は2012年から5年間、仙台に国分町駆け込み寺を開設し東北の人達を救いました。東北駆け込み寺は、その後に名前を引き継ぎ現在に至ります）

「欲」と「暴」の渦中に生まれ、
一人で立ち続け、
やられたらやりかえせで生き続けてきた
そして、吹き溜まりの場所で、人をあつめて稼いだ

一瞬の出会いが一生の破滅を
生み出している社会で
他人を凝視して、対峙してきた
かわらないのは、いつも地べたにいたこと
誰にも、どの組織にも迎合せず、縛りを拒否してきた

見えてきたのは一人一人の「灯」やった
一人一人の目線と同じところに居ないと
現代社会の縮図はみえない
いつも渦中の現場にいた

23年前に「救う」ことをきめた
路頭の片隅でつまずく石拾い、
灯台守りとして灯を点けた

そして、今を向う
未来を背負う若者が餌食になっている
日本に無関心が極まっている
己がそんなに大事か？

玄秀盛の「救う」の集大成、最終形
「貧者の一灯會」
初志貫徹のために同志を呼びかける。

玄秀盛　九拝

「ハラスメント勉強会」 7月のオフ会

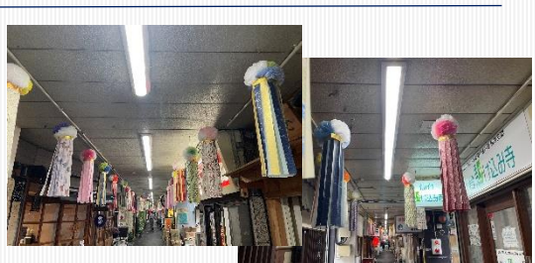
2024年7月27日にサポセンでオフ会を開催しました。今回のテーマは「ハラスメント」。講師はハラスメント問題に取り組んできた相談員の阿部博子さん。ハラスメントの基本的なことを学び、その後に参加者全員で職場のハラスメントについて経験談や自分の思いを発表しました。





いろは横丁の七夕飾りつけ

今年も仙台七夕の季節がやってきました。いろは横町でも恒例の飾りつけをおこない、七夕の雰囲気を盛り上げました。



被災者支援の活動紹介

石巻「みんなの食堂」7月は夏野菜カレーを60食提供しました。





閖上復興住宅では
女性デュオのコンサートを開催

2024年7月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	0件
・家庭の問題	8件
・ストーカー	1件
・自殺の問題	0件
・心の問題	9件
・職場の問題	2件
・生活の問題	5件
・法律の問題	0件
・病気の問題	0件
・SNSの問題	0件
・いじめ問題	0件
・恋愛の問題	4件
・お金の問題	0件
・その他問題	2件
合計	31件

【年代別】

・10代	0件
・20代	3件
・30代	8件
・40代	7件
・50代	8件
・60代	0件
・70以上	0件
・不明	5件
合計	31件

【男女別】

・男性	15件
・女性	15件
・不明	1件
合計	31件

【７月のボランティア延べ人数　108人】

相談員ボランティア募集中
tohoku.kakekomidera@gmail.com
一般社団法人東北駆け込み寺
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3-28
022－200－6002